

東田利町報

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

No. 303 昭和55年6月1日発行 昭和42年7月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行



No. 303

6

1

《健康で長生きを—老人健康診査》

町では、乳幼児からお年寄りまで全町民が健康で明るい生活を過ごせるよう、いろいろな検診、予防対策を実施しています。

老人健康診査もその一つ。65歳以上70歳未満を対象に、一次検診として検尿、血圧測定、医師の診察等を実施、異常と認められる場合は、さらに心電図検査等の精密診査を行い、病気の“早期発見”“早期治療”をしてもらおうとするものです。

健康は最大の宝なり——「自分の健康は、自分で守る」ことを心がけ、該当者は全員受診するよう望んでいます。

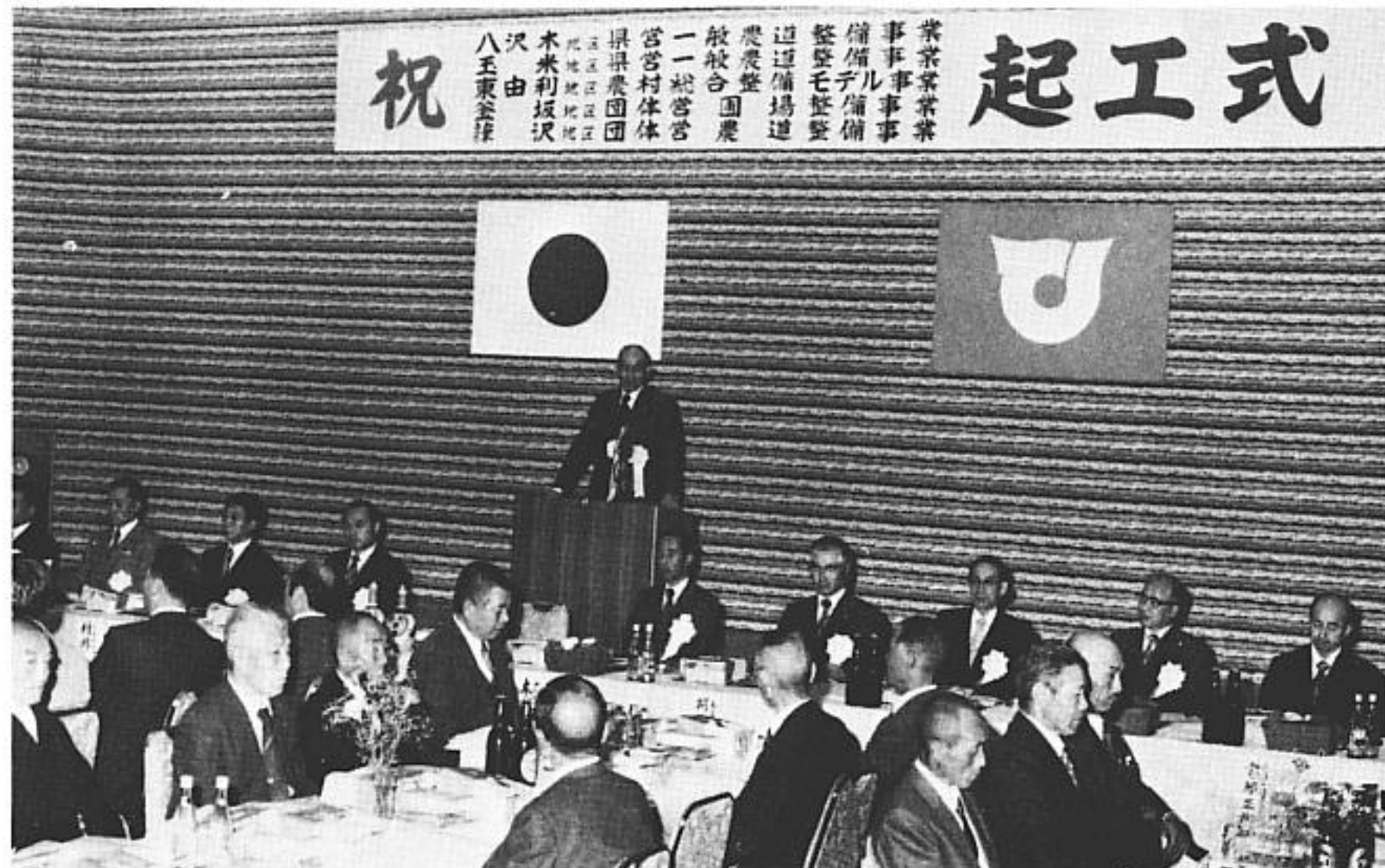
(老人健康診査、5月28日宿小で)

県営
団体営
の農業基盤整備事業を導入

七事業の起工を盛大に祝う

総事業費は合せて二十七億円

今年度から事業実施される八沢木地区県営一般農道整備事業、玉米地区県営一般農道整備事業、東由利地区農村総合整備モデル事業、釜坂地区団体営ほ場整備事業、葎沢地区団体営農道整備事業、及び昨年より着手されている須郷地区団体営農道整備事業、八塩地区開拓道路整備事業の起工式が五月二十七日、町開発センターで行なわれました。



町内外から160名余りが出席して、7農業振興事業の起工を盛大に祝った



⇒ 工事の安全を願い鍬入れする小松町長

当日は、県、町関係者、大森町長、羽後町助役、工事関係者、住民代表者のほか、金野東北農政局建設部開発課長補佐、村岡前衆議院議員、佐藤県議会議員など、町内外からの来賓、合せて百六十余名が出席し、午前十一時から開発センター東側の「モデル事業」実施予定地で神事を行い、

佐々木県農地整備課長、小松町長、請負業者の(株)大沼

各事業の概要

組、長谷山建設、(株)興北協和、村上建設が鍬入れをして、工事の安全を祈りました。このあと会場を開発センター集会所に移し、式典、続いて祝賀会を行い、合せて総額二十七億円を超える七事業の起工を盛大に祝いました。各事業の概要は、次のとおりです。

・八沢木地区県営一般農道 広域農道に関連する農道として、総事業費五億四千五百万円を投じ、小倉から高村を通って大森町松原に至る延長五、三六〇メートル(本町分は、延長三、九六〇メートル)を、全幅七メートル、車道幅員五・五メートルに改良補装するもので、今年度は、四千九百円で高村地内五八〇メートルが改良される予定です。

・農村総合整備モデル事業 生産基盤、生活環境を総合的に整備し、若者も喜んで定着できるように農村をつくりあげよう——と、今年度から七カ年の予定で十五億円を投じ、農道二十七路線、集落道二十一路線、農業排水路十四路線、集落排水路十四路線、営農飲雑用水二系統、防火水槽二十基、研修・集会施設三棟、農村公園六カ所をそれぞれ整備する計画です。

町費負担は無し。

・葎沢地区団体営農道 黒瀬から葎沢に至る延長一、〇七〇メートルを、総事業費七千六百五十万円、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良補装するものです。

今年度は、千五百万円、葎沢地内一五〇メートルが改良される予定です。

町費負担は二五〇万円。

・須郷地区団体営農道 須郷と高屋を結ぶ延長一、三八二メートルを、総事業費一億二千五百四十万円を投じ、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良補装するもので、昨年、千八百万円、須郷地内三六二メートルが改良されています。

今年度は、六千万円で、須郷地内七〇〇メートルが改良される予定です。

町費負担は二五〇万円。

・八塩地区開拓道路 開拓地整備のため、金森沢(石高地内)を起点に、ヨシヤチ(八塩山・不動滝)を終点とする延長三、〇五〇メートルを、総事業費一億六千三百三十万円を投じ、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良(部分的に舗装)するもので、昨年、五百四十万円、金森沢地内百六〇メートルが改良されています。

今年度は、三千万円、六〇〇メートルが改良される予定です。町費負担は無し。

事業費のうち町費負担は、九、四〇〇万円です。

・玉米地区県営一般農道

新沢から荒沢を通じて羽後町古米沢に至る延長四、三五四メートル(本町分は、三、四七〇メートル)を、山村基幹農道として二億三千万円を投じ、全幅五メートル、車道幅員

のです。

今年度は、千八百万円で、水田一一・四畝の面工事を実施する予定です。

・葎沢地区団体営農道

黒瀬から葎沢に至る延長一、〇七〇メートルを、総事業費七千六百五十万円、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良補装するものです。

今年度は、千五百万円、葎沢地内一五〇メートルが改良される予定です。

町費負担は二五〇万円。

・須郷地区団体営農道 須郷と高屋を結ぶ延長一、三八二メートルを、総事業費一億二千五百四十万円を投じ、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良補装するもので、昨年、千八百万円、須郷地内三六二メートルが改良されています。

今年度は、六千万円で、須郷地内七〇〇メートルが改良される予定です。

町費負担は二五〇万円。

・八塩地区開拓道路 開拓地整備のため、金森沢(石高地内)を起点に、ヨシヤチ(八塩山・不動滝)を終点とする延長三、〇五〇メートルを、総事業費一億六千三百三十万円を投じ、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良(部分的に舗装)するもので、昨年、五百四十万円、金森沢地内百六〇メートルが改良されています。

今年度は、三千万円、六〇〇メートルが改良される予定です。町費負担は無し。

・葎沢地区団体営農道

黒瀬から葎沢に至る延長一、〇七〇メートルを、総事業費七千六百五十万円、全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良補装するものです。

今年度は、千五百万円、葎沢地内一五〇メートルが改良される予定です。

町費負担は二五〇万円。

農委会長に遠藤氏再選

職務代理者には小松(鉄)氏



厳しい農業情勢の時だけに、農業委員会に寄せられる期待も大きい

改選後初の町農業委員会は五月十三日、役場会議室で開かれました。

当日は、十五委員中十四委員が出席、人事案件について審議したほか、本議席を抽せん決定して閉会しました。

その結果、会長には前会長の遠藤孫助氏(小倉、六十八歳)を、会長職務代理者には小松鉄郎氏(下通、五十一歳)を、それぞれ互選しました。

また、県農業会議の会議員は遠藤会長が兼任することとしました。

水田再編など農業を取り巻く情勢はなお厳しい時だけに、地域農業の発展をはかろうとする農業委員会には、大きな期待が寄せられています。



町長から優良納税表彰を受ける小松さん

あいさつに立ち、町の財政状況と主要事業の概要等を紹介しながら、過疎、山村といったハンデを克服し、明るく住みよい東由利を築くために、全町民の理解と協力を要請しました。

続いて、長沢町議会議長のあいさつ、来賓の木谷秋田県由利地方部長から祝辞が述べられました。

このあと、自治会交付金や納税貯蓄組合の交付金、町税の納付、一〇、〇〇〇平方

部落自治
会長会議

町に対し活発な意見・要望 明るく住みよい東由利を

昭和五十五年度の部落自治
会長会議は、五月十二日町開
発センターで開かれました。
会議では、先ず小松町長が

以上の土地取引(売買等)の届出、水道メーターの取り替え(東由利水道)、ゴミの不法投棄禁止、家屋の新増築は建築確認許可を受けて、公有地の埋め立てには許可が必要、きれいな選挙の推進など、町側からの連絡及び依頼事項等について説明があり、引き続き意見交換に入りました。

意見交換では、自治会長側から町に対し、大字単位の町政座談会開催、道路の維持補修、側溝の整備、資産税と国保税の納期の調整、などについて、活発な意見や質問、要望が寄せられました。

二組合・一個人を

納税表彰

また、会議に先立ち、納税意識の高揚に特に顕著な成績をあげている次の二納税組合と個人に、町長から表彰状と記念品が贈られました。

自治体を運営していく上で、もつとも基礎となる町税は、昭和四十二年以降十三カ年連続百割完納を達成しており、町では、健全な財政運営と豊かな町づくりのために今後尚一層、この税に対する町民の皆さんの理解と協力をお願いするものです。

(納税表彰)

- ・田代納税貯蓄組合
- ・新町納税貯蓄組合
- ・小松兵亮氏(館合新田納税貯蓄組合長)

町長日記

国が学校統合の方針を打ち出したのは、昭和三十一年でした。戦争が終り十年経って、ようやく国の再建の目鼻がたつて来た頃です。

国の立場からは、各町村に立派な学校をつくってやりたいが、このままの全国の校舎の数ではとても手が回らない、学校をまとめて補助を出そうと考えたのは、当時の事情からやむを得ないことだったかも知れません。

しかし、この大規模校志向(小学校は十二学級)の方針のために、無理な統合も行われまして、全国的に混乱も起きたのも事実です。

昭和四十八年になって新しい方針が文部省から出されました。それは地域の実情に合う、教師と子供のふれ合い、地域とのふれ合いの中で良い教育が行われるのであれば、小規模校でも良いというのです。自治省でも交付税措置の中で、一校当りの単価費用が配慮されて来ております。

小学校は、中学校や高等学校と違いまして、低学年は、まだ幼児の段階であり、児童の生活領域から通学区域が離れ過ぎますと生活指導面でマイナスな面が多く

出ると考えます。

昭和四十六年に、秋田大学教育学研究室で本町を対象にして「過疎と教育」という研究調査をされた。その中で「出稼期間中における教師の特別指導」という項目があります。この中で「出稼期間中に、指導上特に注意をしていることがあるか」という質問に、ほとんどの教師は何んらかの指導をしており、その指導のうちで七割の教師は「生活指導上の注意をしている」と答えています。季節労働が子供の深層心理に与える影響は否定出来ない。行政、地域の責任、配慮は当然ながら、学校生活に於ける児童の問題意識、問題行動には、教師の目で見つかった教育的配慮が大切である。過疎地の学校統合には、教育効率の集中のメリットで考えるだけでは解決の出来ない問題が多い。

教育はよく教師論だと言われます。本町の小学校の先生59名、うち通勤の先生が41名おります。この通勤の条件(生活条件)を配慮することが本町の教育向上につながることを考えなければならぬと思います。

臨時議会

玉米小建築費など可決

農業委員に伊小長谷山氏を推薦

東由利町議会第二回臨時議会は、五月六日に招集され、農業委員の推薦のほか四議案を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

推薦・可決案件

〔農業委員会委員の推薦について〕

四月三十日で任期満了とな

つた議会推薦の農業委員に、長谷山千代蔵（七十六歳、黒瀬字石田八十三の二）、小野昭一（六十歳、宿字幅野二十九）、伊東庄一郎（六十三歳、蔵字新田五十八の四）の三氏を推薦した。

〔専決処分承認を求めることについて〕

（一）昭和五十四年度東由利町一般会計補正予算（第十号）

農業基盤整備事業等昭和五十四年度事業に係る起債申請中のところ、年度末において予算限度額を超える起債許可予定額の通知があり、これを起債するため早急に予算の補正を要したものの。

（二）東由利町税条例の一部を改正

地方税法等の一部を改正する法律が三月三十一日に公布

施行されたことに伴ない、早急に町税条例の一部改正が必要となったもの。

（三）過疎地域振興のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正

（二）に同じ。

〔昭和五十五年度東由利町一般会計補正予算（第一号）〕

歳入歳出予算にそれぞれ三億九千六百五十八万二千円を追加し、総額をそれぞれ二億一億一千七百七十五万円とした。歳出補正の主なものは次のとおり。

・農地災害補助金 百九十四

万六千円 ・須郷農道工事費 二千二百六十万円 ・津沢農道工事費 減一千百十二万九千円 ・土場沢線補修工事費 三十五万円 ・小学校統合促進費 四十八万円 ・玉米小学校建築費 三億八千四百九万二千円

請願

このほか、議会に対して出された請願「残校一校の小学校統合について」は、不採択となりました。

町内小学生二十四人も表彰

全珠連県支部で優良生徒表彰

去る四月二十七日、社団法人全国珠算連盟秋田県支部

（大場留二郎支部長）の主催する「昭和五十四年度・秋田県珠算学習模範優良生徒表彰式」が秋田県民会館で行われ、



コンピューター時代となってもソロバンは必要

算学習模範優良生徒表彰式」が秋田県民会館で行われ、席上、本町の小学生二十四名も表彰状と記念のメダルが贈られました。これは、県内の学校や珠算塾等でソロバンを学ぶ生徒の中から、出席率もよく学習態度も真面目で他の模範となる一、〇〇〇名を表彰し、それぞれの士気高揚

と珠算の普及発展を図ろうとするもので、別に千人表彰とも言われ、昭和四十九年度に次いで二回目です。ソロバンは、計算能力だけでなく、数を理論的に理解する上で役立つものであり、昔から「読み・書き」とともに学問上の基礎的なものとして大切にされています。コンピューター時代と言われる現代においても、ソロバンの効用は大きく、重視され、金融機関はもちろんだ、入社試験科目にソロバンを取り入れている一般会社も相当数あると言われます。

十数年後には確実に社会に飛び立つこの子供たちの今後の活躍が期待されるところで、受彰者氏名等は次のとおりです。

古里に恩返しを

高瀬会 町社福協に二万円

本荘市に在住する本町出身者で組織する「高瀬会」の皆さんから、町社会福祉協議会に二万円が届けられました。

これは、同会が五月十一日、東由利町めぐり（古里へ帰る会）で本町を訪れた際に、自分たちを育ててくれた古里に少しでも、何かの役にも立てば、と贈ってくれたものです。

“未来への歩みを決めるこの一票”

衆議院議員総選挙 投票日は 6月22日です
参議院議員通常選挙

（同時に最高裁判所裁判官国民審査も行われます）

みんなそろって投票しましょう！

明るい選挙は わたしたち一人一人の手で

衆議院議員・参議院議員・町議会議員 選挙を前に



いろいろな投票制度

選挙は、わたしたちの暮らしの願いを政治に反映させる最大のチャンスであり、わたしたちの一票は暮らしをよくするための貴重な「意思表示」です。

投票は、投票日に、有権者が投票所に行つて、自分で候補者の氏名を書いて投票するのが原則です。

しかし、やむを得ない特別の事情によって投票日に自分で投票できない方などのために、いろいろな制度が設けられています。

今号では、六月から七月にかけて実施される衆議院議員総選挙、参議院議員通常選挙、町議会議員選挙を前に、キケンすることなく全町民が投票に参加してもらうために、この投票制度について紹介します。

代理投票

身体の故障などのため、自分で投票用紙に候補者の氏名を書くことができない人のためには、「代理投票」が認められています。

代理投票をされる方は、選挙の当日、投票所の係員にお申し出ください。二人の投票



不在者投票

投票日に、仕事などの「やむを得ない事情」で投票所に行けない方のために、不在者投票制度が設けられています。選挙の当日、自ら投票所に行けない「やむを得ない事情」とは、たとえば、次のような場合です。

●選挙人（有権者）が、自分の投票区の区域外で職務に従事である場合（たとえば、出張中など）。

●選挙人がやむを得ない業務や事故のため、自分の投票区のある市町村の区域外に旅行中または滞在中の場合（たとえば、新婚旅行中など）。

●選挙人が著しく不便な一定の地域に住んでいる場合や滞在中の場合、あるいは職務に従事中の場合。

これらの人は、告示の日から投票日の前日までの間に、不在者投票をすることができません。

不在者投票をされる場合、詳しいことはあらかじめ町選挙管理委員会におたずねください。



不在者投票で出張も安心

郵便による投票

	両下肢又は 体幹の機能 の障害	心臓・じん 臓又は呼吸 器の機能の 障害
身体障害者 福祉法によ る身体障害 者（注1）	1級又は2 級	1級又は3 級
戦傷病者特 別援護法に よる身体障 害者（注2）	特別項症か ら第2項症 まで	特別項症か ら第3項症 まで

（注1） これらの障害の程度に該当することを都道府県知事または指定都市の長が書面で証明した者

（注2） これらの障害の程度に該当することを都道府県知事が書面で証明した者

郵便による不在者投票 ＝在宅投票制度＝

身体に重度の障害のある方は、郵便によって不在者投票をすることができません。

この在宅投票ができる人は、身体障害者手帳が交付されている方、または戦傷病手帳を交付されている方で、その程度が、一定の基準にあてはまる人に限ります。（別表参照）
なお、郵便で投票する場合、あらかじめ郵便投票証明書の交付を受けておき、その証明書を添えて投票用紙を請求しなければなりません。ま

点字投票

目の不自由な方は、点字によって投票することができません。遠慮なく係員に申し出てください。

◇ これからの政治を任せる人を選ぶにあたって、わたしたちは、誰にも惑わされることなく、冷静で悔いのない正しい「一票」を投じ、公正で明るい選挙を実現しましょう。

〈選挙法ひとくちメモ〉



政治家や候補者などが
お中元や寄付など金品を贈る
ことはルール違反です。



政治家や候補者などに
お祭りの寄付など金品を求め
ることも禁じられています。



政治家や候補者などから
祝儀やせん別など金品を受け
とってはいけません。

—贈らない・求めない・受けとらない—

選挙の時にかぎらず、日ごろからみんなで
「きれいな選挙」を心がけましょう。

生活
目標

実践はみんなが主役

今日から取り組みよう

昨年度、四項目からなる町民の生活目標案を設定、町報を通じて町民各位にご検討をお願いしておりましたが、格別ご異論が寄せられませんでしたので、先般これを確定しチラシにして各世帯に配布の上全町民あげて実践に取り組んでいただくことにしました。

目標設定の考え方についてはチラシで十分ご理解いただけたと存じますが、これの実践には多種多様なパターンがあると考えられます。今号ではそれぞれの家庭、地域、職場で実践していただくためのいくつかの具体例を呈示してみました。創意工夫次第ではまだまだ有効な手段もあるかと存じますので、参考にしながら、新生活運動の一環としても全町民が実践に取り組んでくださるようお願いいたします。

明るいあいさつ

消極性払拭の契機に

私たち東由利町民は押しな

べて引込み思案で口が重いため、他との交流がヘタだという評価をされ勝ちです。これではどんなに良い考えを持ちどんなにすばらしい意見を持つていても生かされる機会が少くなるのが目に見えています。

引込み思案で云々…という迷惑な評価を払拭し、自分の意見を適格に述べられる訓練を積み重ねることがきわめて大切であると思います。

この訓練の一方法として公民館では積極的なあいさつを社会教育の四本柱の一つに据えてみました。

快よいあいさつをされて立腹する人はまずいないとわかっていながら、進んでできないのが実情であり、引込み思案だと評されるゆえんでもあ

ります。

社会教育の四本柱に据えた公民館が考えているあいさつというのは、結婚式や諸会合での堅苦しいあいさつ…という類ではなく、日常、町民誰もが気軽にかけられるあいさつ、つまり会釈だけでも自ら進んで行えるよう習慣づけようというものであります。

これができれば、言語の巧拙にかかわらず引込み思案と評される消極性の壁の一角を突き崩す契機になるものと考えられます。

以上のことから実践の具体例として次のとおり考えてみました。格別目新らしきがないことですが、日常生活の規範ともなる事項ですので子ど

公民館のページ

もたちも含めて可能な限り実践して下さるようお願いいたします。

(1) 朝起きたら家族同志で「お早よう」と声をかけ合う。

(2) 登校、通勤時等に街頭ですれ違う時などには相手を避けてお互い声をかけ合い「お早よう」「こんにちは」「さようなら」程度の会釈をかわす。

(3) 見えない電話の相手に対しても誠意をもって臨み最小限のあいさつを行い、要件を簡潔に手際よく話す。

ミエ・ムリ・ムダの排除

まず時間を守ろう

冠婚葬祭の簡素化を始め日常生活の中からムリやムダを排除するため、新生活運動などあらゆる面から取り組んで来ますが、諸般の事情か

「清潔な郷土づくり」

「汚さない」が鉄則

清潔で住みよい生活環境を私たちの誰もが希求していますが、現実には日常生活の中から出るゴミが河川や崖下など私たちの周囲に氾濫しています。

きれいであってほしいと希いながら一方で私たち自身が汚し続けているとい

う矛盾した現実の反省に立つて、社会教育の二本目の柱に「きれいな町づくり」を据え、ゴミを捨てない、汚さない運動を展開して行くことにしました。

きわめて常識的なありきたりのことではありますが、矛盾した現実がある限りやむを得ないことと考えております。

私たち自身が実践の主役となつて私たちの生活環境を清潔にするにはどうしたらよいのか、次の具体例を参考に家庭や地域からゴミを一掃するよう努力し合ひましょう。

公民館のページ

(1) ゴミは定められた収集日に定められた方法で搬出するか焼却処理する。

(2) 自家焼却後は必ず後始末を行い、残った不燃物を(1)に準じて処理する。

(3) 耕地や空地に使用済農業資材を放置しない。風に飛ばされたり流された

りして河川を汚している例がたくさん見られます。

(4) 車窓からアキ缶類、食べ物のカス、たばこの吸

いがらなどを絶対に捨てない。

(5) 外出、その他ゴミを出すおそれのある場合は必ず

ゴミ袋を持参し持ち帰る。

(6) まず汚さない工夫をし家庭内、そして自宅周辺は心がけて毎日清掃する。

個人で手の届かない範囲は地域ぐるみで自主清掃を行う。

(7) できるだけ花木を植栽し、清潔でうるおいのあるくらしをめざす。

否めませんが、石油を取り巻く今日の国際情勢からお解りいただけるように八〇年代は経済の低成長時代と言われ全国民がこれまでの反省に立つて堅実に生き抜くために知恵を出し、工夫を求められるようになりました。

こうした時局をうけとめ従

来、空念佛に終り勝ちであったミエ・ムダ・ムリの排除を軸とした生活の合理化実践を三本目の柱に据えました。

物質面における合理化も当然ですが、社会が多様化し多忙化している今日では会合等における時間の面でもムダを省く工夫が痛切に要求されて来ています。

三本目の柱では、こうした視点から時間(刻)に焦点を絞り具体例を掲げましたので参考の上、職場で、地域でぜひ実践くださるようお願いいたします。

(1) 会合等への参加者は開会時刻に遅れないで出席する。従来のように30分ぐらいいは…とサバを読まない。

(2) 主催側は参加者の便宜を考えたと同時に配慮して開会時刻を定め、必ず定刻で開会する。

(3) 開会後における遅参者に対しては、それまでの進行経過を説明しない。

(4) 開会直後は必ず日程説明を行い予め終了予定時刻を知らせる。

(5) やむを得ず遅刻、欠席となる場合は事前に必ず主催側に連絡する。

次号からもっと工夫研究してみたいと思います。

明日の秋田への提言 募集

締め切りは6月30日

県では、豊かな県民生活の実現をはかるため、県民のみなさんに今後の秋田県のあり方、目ざすべき方向について考え、新しい総合計画に反映させることをねらいとして、次により「明日の秋田への提言」を募集します。

奮って応募

してください。

【部門別テーマ】

・小学校の部、中学校の部
「私の夢、明日の郷土」

故畠山春吉さんに叙勲

勲七等瑞宝章・従七位に

に叙されました。

畠山さんは、昭和十

元老方郵便局職員で去る一月四日に亡くなられた故畠山春吉さんは、このたびその生前の功績に対し、勲七等瑞宝章を授与、従七位



故 畠山 春吉 さん

七年十二月に老方郵便局に奉職して以来、昭和五十年七月に退職されるまで三十二年余の長期にわたり、地域の郵便物の集配、郵政事務に献身的に尽くされ、去る昭和四十六年四月には、永年勤続（三十年）により郵政大臣表彰を受けられています。

あなたは整備不良自転車に乗っていませんか

～愛車には自転車安全整備店でTSマークをはりましょう～

先の道路交通法の改正で、新しく普通自転車の安全基準が定められましたが、この基準に適合する普通自転車でない

ければ「自転車歩道通行可の標識のある歩道」を通行することができなくなりました。普通自転車とは、車体の形状や大きさ、性能が次のような基準を満たしている安全性の高い自転車のことをいいます。

- 長さ一九〇センチ以下、幅六〇センチ以下であること。
- 二輪または三輪で座席が一人分（幼児用座席を除く）であること。
- 危険な突出部や先鋭部がないこと。
- ブレーキレバーは操作しやすい位置にあり、時速一〇キロで前輪、後輪を制動したとき、三キロ以内で停止できること。
- ハンドル、サドル、ペダル、

- ・高等学校の部、一般・大学の部
- 「明日の秋田への提言」（但し、題名は自由です。）
- 【原稿枚数（四百字詰・B四版）】
- ・小学校の部、中学校の部 五枚以内
- ・高等学校の部 十枚以内
- ・一般・大学の部 十～十五枚以内
- 【応募方法】

- ・応募原稿には、住所、氏名、年齢（学年）、性別、職業、勤務先（学校名、学年学部学科名）、連絡先電話番号等を明記してください。
- 【応募締切】
- 昭和五十五年6月30日（当日消印有効）
- 【送付先】
- ・小学校・中学校の部 秋田県教育庁義務教育課（〒010秋田市山王四丁目一

- 番二号）
- ・高等学校の部 秋田県教育庁高校教育課
- ・一般・大学の部 秋田県企画調整部企画調整課（秋田市山王四丁目一番一）
- ・または由利地方部企画管理室（本荘市出戸町字水林三六六）
- 【賞】
- ・小学校、中学校、高等学校の部 特選各一編、佳作各十

- 点以内、賞状と賞品（時計・図書券）
- ・一般・大学の部 特選一編、賞状と賞金十万円。佳作十一点以内、賞状と賞金一万円。
- 【その他】
- ・応募作品は、自作の未発表のものに限る。
- ・その他問い合わせは、それぞれの原稿送付先へ。

安全な町づくりには「防犯灯一基を寄贈」

東北電力本荘（営）

防犯と交通事故防止に役立ててください。と五月十九日、東北電力（株）本荘営業所（兼松作二郎所長）から春のサービス旬間にちなみ、今年も水銀防犯灯一基が寄贈されました。町では早速、野田に取り付け、地域の安全に役立てることにしました。同所からは、毎年春と秋のサービス旬間に防犯灯が寄贈されており、関係者はこうしたご厚意に対し感謝するとともに、安全で快適な町づくりをすすめていっています。



おとぎ話に出てくる文福茶釜（ぶんぷくちやがま）の「ちやがま」を、小さい子供は間違えて「ちやまが」と発音することがあります。子供ばかりでなく、おとなでも「手持ちぶさた」を「手持ちぶたさ」と言ったり、「けんもほろろ」を「けんもほろほろ」などと、言い間違える人がいます。漢字の読み誤りの例では、「任務の遂行」「殺人未遂」の「すいこう」「みすい」を「ついこう」「みつい」と思い込んでいる人が、かなりいるようです。また、「しばらくの間」という意味の「暫時」は「ざんじ」で、「へしだいに、だんだん」の意味の「漸次」は「ぜんじ」ですが、この二語はたいへんまぎらわしいので、口に出して言うときは、とかく混同されがちです。一方、漢字の書き誤りは、音が同じで字形や意味に類似性のある場合に多いようです。専門（門）、講議（義）など。あやしいと思つたらまず、めんどろがらずに辞書で調べてみることです



町の概要

人口総数	6,372人
男	3,130人
女	3,242人
世帯数	1,460戸
面積	148.51km ²
	(55 . 5 . 1)

青年駅伝大会

住吉青年会Bチームが初優勝

青空の下で健却競う

町連合青年会(長谷山順一
会長)の主催する「青年駅伝大
会」が今年も五月五日、桜の
花も咲き揃い、青く晴れわた
った絶好のコンディションの
中で行われました。

今年も町内六地区単位青年
会から九チーム(住吉は二チ
ーム、蔵は三チーム)五十四
名の選手が参加、公民館前か
ら住吉、大琴間、六区間、往
復二九・八キロメートルに健却を競い、
結果、住吉青年会Bチームが、
前年優勝の宿青年会を抑え、
見事、初優勝
を飾りました。



ゴールイン……住青Bチームが2位に約5分の差をつけ初優勝

この大会は、
在町青年のス
ポーツシーズ
ン開幕を告げ
る恒例の行事
として毎年五
月五日に行わ
れており、昭
和三十六年の
第一回から今
年で二十回を
数える伝統あ
るものです。
レースは、
昨年に続き二
年連続優勝を

狙う宿青年会チームと、今年
こそは優勝杯をわが手にと闘
志をみなぎらせる他チームが、
沿道の町民の声援を受け、終
始好レースを展開。
結局、乱戦状態から第三区
で宿青を抜きトップに出た住
青Bがそのまま引き離し、四
分五十六秒の差をつけゴール
イン。堂々の初優勝を飾りま
した。

成績等は次のとおりです。

(総合)

第一位 住吉青年会B

1時間50分47秒

第二位 宿青年会

1時間55分30秒

第三位 住吉青年会A

1時間56分54秒

(区間第一位)

一区(公民館前)須郷田 5.3 km

木島省吾(宿青) 18分48秒

二区(須郷田)住小前折返し
高戸屋 4.7 km 渡辺健二

(住青B) 17分34秒

三区(高戸屋)島 5.5 km 佐

藤清一(法内青) 18分41秒

四区(島)大琴 5.3 km 佐藤

幸輝(住青B) 18分53秒

五区(大琴)蔵小前 4.8 km

▽玉米小へ雑巾100枚 小

松チヨエさん(松柴)から

▽蔵小へ外ボウキ20本

千葉五郎さん(黒沢)から

▽蔵小へ雑巾100枚 阿部

キヨミさん(岩館)から



善意



いつと心は、お
とただけのもので
はありませぬ。気
づくことが少ない
だけのことで、幼児もやき
もちをやきます

子供のしつと心は、たと
えば、上の子が、新しく生
まれてきた赤ちゃん
んに対して現れる
ことがあります。

このしつと心がたまりた
まって、ゆがんだ欲求不満
や劣等意識となつて子供の
心に宿り、成長後、大きな
精神的後遺症となつて現れ
ることもあるといわれます。

やきもち

赤ちゃんは「ライバル」

それまで母親を独
り占めしていたのが、赤
ちゃんの登場で、事情は一変
します。その結果、上の子
は、ミルクをほ乳びんで飲
みたいとだだをこねたり、
オシメをしてほしいといっ
たりします。また、乳幼児

上の子にとって、赤ちゃん
はライバルといつてもよい存
在です。ですから、単に「あ
なたはお兄さんなのだから、
がまんするのですよ」といっ
たぐらいでは、なかなか納得
しないことが多いようです。

とが大切です。
そして、家族間の役割と
立場をはっきりさせ、一人
一人が納得のいく形で日常
生活を営むようにしたいも
のですね。



4月21日～5月20日

誕生

おめでとう

畑山晃 下吹 勲 長男
志村哲郎 新町 仁 長男
小野隆 宿 恭夫 二男
小野善幸 時雨山 与一 長男
阿部由美子 沼 憲一 二女
畠山晃 島 久治 二男
柴田和佳子 須郷田 和尋 長女
菊地和紀 館西 章 長男



結婚

おしあわせに

遠藤建一 新処
遠藤悦子 小倉
小松二 八日町
佐藤誠子 葎沢
小松君悦 土前
畑山繁子 宇戸坂
佐藤直弘 横渡
松崎恵子 新潟県

佐藤清一 石高
山本千賀子 青森県
阿部義夫 野田
遠藤親子 蔵
小野廣雄 高屋
猪股里子 本莊市

・お悔み申し上げます

小松 キヨ 高戸屋 88歳
吉川 シナ 時雨山 85歳
阿部 浩 沼 20歳
畠山 恒作 横小路 76歳
近江 ハナ 奥ヶ沢 78歳

事故を呼ぶ、酒が・疲労が・スピードが